

団体名： 尾張旭市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考																
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D 評価																		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	指標			自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②										
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模事業者を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、事業資金助産等の金融相談、決算・経営申告の相談指導、労働保険等の相談指導、情報化支援相談、経営安定のための共済制度の促進等経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業実績552事業所 ・巡回窓口指導延件数1562件（うち創業支援2事業所14件） （うち非会員19事業所50件） ・課題解決提案件数24件 ・経営革新計画 4件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 91.9 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 80.0 %)	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 91.9 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 80.0 %)	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 91.9 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 80.0 %)	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	経営指導員等の商工会職員が地区内小規模事業者へ訪問、又は小規模事業者が商工会窓口へ来訪し経営に関する相談等、事業者が直面している、新型コロナウイルス感染症対策、給付金、補助金、資金成り、販路促進、税務、労務等の様々な問題について親身になって相談指導を行うことにより経営改善に資することができた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	販路拡大の支援や補助金申請にかかる事業計画策定等の専門的な相談が増加。1事業所の課題に深く関わる機会が長くなってきているが今後も気軽に相談できる規程の支援機関となるように努める。
記帳継続指導	記帳指導職員を中心に商工会の職員が、個人事業主を対象に正しい記帳方法や決算・申告の指導を行い、適正な税務申告と経理処理による経営力の向上に結びつけていく。	・指導対象者数 66人 ・指導延べ日数 710日 ・指導延べ回数 814回	小規模事業者	指標	指導延回数 (達成度 122.4 %)	指標	指導延回数 (達成度 %)	指標	指導延回数 (達成度 122.4 %)	指標	指導延回数 (達成度 %)	指標	指導延回数 (達成度 122.4 %)	指標	指導延回数 (達成度 %)	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	個人で青色申告を選択している事業主を対象に、日常の記帳の仕方から決算書の作成に至るまでをそれぞれの業種・事業所にあつた形で分かりやすく指導した。自ら記帳することにより経営内容を把握し、経営の安定化に繋がった。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	事務者と連携し、記帳継続指導会のメンバーを配置するなどし、新規開業者及び初年度青色申告を行うような事業者を中心に記帳継続指導及び記帳機械化の対象者の募集を積極的に行っていく。
講習会	経営に関する様々な問題解決に対応するため、小規模事業者にとって必要な知識を習得すること、事業者の資質向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 集団 5回 37人 個別 20回 121人 内訳 (金融 12回 21人) (税務 8回 100人) 集団/個別合計 25回 158人	小規模事業者	指標	講習会等受講者数 (達成度 92.9 %)	指標	講習会等受講者数 (達成度 %)	指標	講習会等受講者数 (達成度 92.9 %)	指標	講習会等受講者数 (達成度 %)	指標	講習会等受講者数 (達成度 92.9 %)	指標	講習会等受講者数 (達成度 %)	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	・経営に関する各分野に対する知識、情報の取得 ・経営における技術指導による経営の改善、向上 ・経営に対する考え方の見直しによる経営削減等の意識の向上 ・個別等の直接的な指導によるキメ細かなアドバイス	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルスの影響に配慮しながら、小規模事業者にとって有益な講習会を計画回数どおり開催できるように努める。
事業計画策定支援	経営に不安を抱えている小規模事業者や、事業の拡大を希望する意欲ある小規模事業者の掘り起こす。また、小規模事業者には事業計画策定の重要性を理解してもらい、実現性の高い経営計画の策定に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 5月 5日間 19人 7月 4日間 10人 9月 4日間 16人 11月 3日間 5人 1月 5日間 10人	小規模事業者	指標	講習会等受講者数 (達成度 400.0 %)	指標	講習会等受講者数 (達成度 %)	指標	講習会等受講者数 (達成度 400.0 %)	指標	講習会等受講者数 (達成度 %)	指標	講習会等受講者数 (達成度 400.0 %)	指標	講習会等受講者数 (達成度 %)	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	計画の記入に必要な内容をばしめ、経営計画の必要性について理解することにも寄与した。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も経営計画作成の講習会を行い、実際に経営計画作成につなげていく。
調査・広報事業	中小・小規模事業者関連の施策に反映するために、経営実態・地域景気動向・消費者動向等を把握する調査事業を実施する。	「売上高」、「経営状況」、「資金繰り」、「設備投資」の4期を比較した結果、売上高、経営状況では悪化の回答数一番多い結果となった。今後の見直しについても減少との回答数が最も多くやはり厳しい状況にある。今回の調査結果を生かして、地域のニーズに沿った経営支援を行う事が出来た。	小規模事業者	指標	回答回収件数 (達成度 80.7 %)	指標	回答回収件数 (達成度 %)	指標	回答回収件数 (達成度 80.7 %)	指標	回答回収件数 (達成度 %)	指標	回答回収件数 (達成度 80.7 %)	指標	回答回収件数 (達成度 %)	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	「売上高」、「経営状況」、「資金繰り」、「設備投資」の4期を比較した結果、「売上高」、「経営状況」、「設備投資」については悪化傾向のポイントが増え、やはり厳しい状況にある。特に飲食業に関しては新型コロナウイルスの影響もあり、厳しい経営状況となっている。今回の調査結果を生かして、地域のニーズに沿った経営支援を行うことができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も地域経済の動向を把握するために継続的に実施する。
福利厚生事業	①定期健康診断・生活習慣病検査の実施 ②定期健康診断・生活習慣病検査の実施が、労働基準法・労働安全衛生法等により義務付けられている。そうした中、特定健康診断・特定健康診断も導入され、事業主の従業員に対する健康管理責任が重くなってきている。商工会として各事業所の一助としてこの事業を実施するものである。 ③小規模企業者相互の交流と従業員間の交流を図り、雇用の持続的な安定と企業の健全な育成に資することを目的とする。	①検診日：11月2日・11月4日～6日の4日間を実施。合計362名受診 検査項目 1) 定期健康診断：一般健康診、胸部レントゲン、尿検査、心電図検査、血液検査等 2) 生活習慣病検査：胃検査、眼底検査、追加検査：肝炎検査、腎臓、痛風など ②会員交流親睦旅行 新型コロナウイルス感染症により中止	小規模事業者	指標	健康診断受診者数 (達成度 103.4 %)	指標	旅行参加人数 (達成度 %)	指標	健康診断受診者数 (達成度 103.4 %)	指標	旅行参加人数 (達成度 %)	指標	健康診断受診者数 (達成度 103.4 %)	指標	旅行参加人数 (達成度 %)	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	①年々新たな事業所の受診者が増える傾向にある。多くの従業員が受診できるように開催日や時間等を工夫して(午前中開催日を減らす等)今後も継続して開催する。 ②会員交流事業として、好評を得ている事業であるため、今後も継続して開催していく。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	①年々新たな事業所の受診者が増える傾向にある。多くの従業員が受診できるように開催日や時間等を工夫して(午前中開催日を減らす等)今後も継続して開催する。 ②会員交流事業として、好評を得ている事業であるため、今後も継続して開催していく。
労働保険事業	労働保険の各種手続きから保険料の申告・納付等、労働保険に関する作業を、事業主の委託を受けて事務代行を行い、小規模事業者の負担を軽減することを目的とする。	委託事業所数135件 7・11・2月の3回に分けて保険料を納付した。	小規模事業者	指標	委託事業者数 (達成度 93.1 %)	指標	委託事業者数 (達成度 %)	指標	委託事業者数 (達成度 93.1 %)	指標	委託事業者数 (達成度 %)	指標	委託事業者数 (達成度 93.1 %)	指標	委託事業者数 (達成度 %)	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	労働保険に関する事務手続き及び納付手続き、雇用保険に関する事務手続きなど事業主の事務負担を軽減することができた。労災保険に加入することができない事業主やその家族も労災保険に加入できる特別加入を利用することができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	経費削減のため自社にて手続きをする事業所が増えてきた。特別加入等事務組合のメリットを説明し少しでも委託事業所数を増やしていきたい。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 尾張旭市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考					
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D 評価						目標①		目標②		
				指標	実績	指標	実績	満足度	補足	自己評価	調査結果	満足度	補足			目標①	目標②	満足度	補足	
雇用促進事業	優良従業員表彰事業は、永年にわたり地域産業に貢献した企業の従業員が勤務成績が優秀であった他の模範となる者を表彰し、今後一層の勤務意欲高揚に資することを目的とする。ひいては、事業所の発展につながるものである。	勤労感謝の日に合わせて、その前後の日程で表彰式を実施する。 表彰内容 ①市長賞：勤続年数20年以上・・・3名 ②商工会長賞：勤続年数5年以上・・・19名	小規模事業者	指標	被表彰者数 (達成度 52.5%)		指標	(達成度 %)		功績があった従業員を表彰することによって、勤労意欲の向上を図ることができた。		総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	従業員数の定着や勤労意欲の向上を図るために今後も継続して実施する。
				目標数値	40	実績数値	21	目標数値	実績数値	A	一括アンケート回収121件			現行どおり	実施方法①	実施方法②				
部会・委員会	商業・工業・建設業等の各部会活動を行い、参加企業の発展に資することを目標とする。	〔幹事会・委員会開催回数/出席者数〕 工業部会 11回/ 51人 建設業部会 9回/ 65人 商業部会 9回/ 64人 商業・幹事会3回 39人 商業：正副会長5回 25人	小規模事業者	指標	参加延べ人数 (達成度 81.8%)		指標	(達成度 %)		新型コロナウイルス感染拡大の中で、可能な事業を開催し、商工業者にとって有益となる企画の立案と実行を通して参加企業の発展に寄与することができた。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルスの影響に配慮し、開催可能な事業について感染対策をしっかりととして実施する。
				目標数値	220	実績数値	180	目標数値	実績数値	A	一括アンケート回収121件			現行どおり	実施方法①	実施方法②				
青年部・女性部	商工業者の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための講習会や研修会を開催し、事業所の発展と発展を図る。また地域の発展に寄与する。	青年部 研修会 中止 講習会 1回17名 活動推進研修会 1回2名 女性部 研修会・講習会 4回60名 環境美化事業 5回 43名 地域振興事業 1回 7名	小規模事業者	指標	青年部講習会等の参加人数 (達成度 27.9%)		指標	女性部講習会等の参加人数 (達成度 91.7%)		コロナ禍で、可能な範囲で研修事業を実施し、青年部及び女性部員の資質向上を図ることができた。また、部員間の団結を深められた。		総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	研修事業を通じて、青年部員及び女性部員の資質向上を図る。また、地域振興事業等の実施により地域社会の発展に寄与し、さらには、部員間の団結を深める。
				目標数値	68	実績数値	19	目標数値	120	実績数値	110			A	一括アンケート回収121件 新型コロナウイルス感染症により一部事業中止	現行どおり	実施方法①	実施方法②		
商店街・街づくり事業	地域の環境整備の一環として、市内の発展会等へ訪れる方に快適なショッピング環境を提供し、魅力ある街づくり、商業環境づくりを促進し活性化を図る。	街路灯管理 約500本の街路灯を維持管理し、店舗の広告宣伝及びライトアップによる防犯等地域貢献としての事業を実施した。 新たなスポンサーも増えたが、区画整理等による撤去が増加した。通電基数307基となった。	小規模事業者	指標	街路灯設置基数 (通電基数) (達成度 99.0%)		指標	(達成度 %)		街路灯を設置することで、店舗管理としてのイメージアップ効果と事業所の看板を設置することで、事業所、発展会等のPRとともに、周辺を明るくすることで地域住民への防犯にも役立っている。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	廃業や経費削減等の要因でスポンサーの減少が見られる。使用料の減額したことをPRし、新スポンサー確保につなげる。
				目標数値	310	実績数値	307	目標数値	実績数値	A	一括アンケート回収121件			現行どおり	実施方法①	実施方法②				
祭典事業	市民祭等を開催することで、その集客力を活かして地域の経済活動促進を図る。また、祭典事業を通して、商店街・市内事業所への広告宣伝・PRに役立て、地域の総合的な賑興を図ることを目的とする。	新型コロナウイルス感染症により中止	小規模事業者	指標	協賛数 (達成度 %)		指標	出店者数 (達成度 %)		新型コロナウイルス感染症による中止のため得られた効果なし		総合評価 -	事業実施評価 -	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	積極的に協賛してもらった内容を工夫し協賛数を増やしていきたい。
				目標数値	70	実績数値	-	目標数値	45	実績数値	-			A	一括アンケート回収121件 新型コロナウイルス感染症による中止のため詳細なし	現行どおり	実施方法①	実施方法②		
産業活性化事業	尾張旭市内の企業を中心として、「特産品」と「商品開発」の研究を行い、新たな市場へチャレンジすることによって企業の発展に役立てる。また、観光協会とタイアップし、地域の産業と観光産業の活性化を図り、観光振興事業として、市を訪れる観光客、市民の土産物の需要に応えるため、特産品を認定することにより観光産業に寄与する。	令和元年度に行われた特産品推奨品審査会において、認定された特産品に対し、今回認定期間（H31.4.1～R3.3.31）中に積極的に販売及びPRを行った。 ・PR方法：イベント等でのリーフレット配布、ホームページ、広報紙への掲載 ・販売方法：イベントなどでの出店 特産品推奨品目数：34	小規模事業者	指標	特産認定数 (達成度 94.4%)		指標	(達成度 %)		・市内外に対し、特産品の販路を拡大することによって、売上げアップと利益還元に繋がった。 ・特産品を広くPRすることで、地域やお店の知名度を上げることができた。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	観光協会と連携し、特産品が土産物・配布品として幅広くPR活動をしていきたい。
				目標数値	36	実績数値	34	目標数値	実績数値	A	一括アンケート回収121件			下げる	実施方法①	実施方法②				
情報化推進事業	毎月異なる施策記事及び商工会内部の部会活動記事等を商工会だよりに掲載する。施策記事に際しては経営に役立て、部会活動記事については部会員の魅力を知らせてもらうことを目的とする。また、事業所のPRや地域振興事業に際しての記事も掲載する。	・商工会だより毎月発行・・・毎月異なる施策記事を掲載	小規模事業者	指標	発行回数 (達成度 100.0%)		指標	(達成度 %)		各種施策や補助金等について会員事業所へ積極的に情報提供ができた。また、商工会の事業等についても幅広く知ってもらえた。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおりに小規模事業者の役立つ情報を提供していく。必要に応じてページ配分を変更して、情報提供する。
				目標数値	12	実績数値	12	目標数値	実績数値	A	一括アンケート回収121件			現行どおり	実施方法①	実施方法②				
若手後継者育成事業	(1)若手後継者・経営者育成講習会 目的：若手後継者及び経営者の育成 新型コロナウイルスの蔓延によって社会全体が不況に陥っている中、その状況を打破するきっかけとなる企画開発を学び、社会の発展及び若手後継者を通じた地域活性化に繋げることで、青年部員としての資質向上を図ることを目的とする。	(1)若手後継者・経営者育成講習会 ①事業の具体的内容（実施の方法や時期・回数、参加予定人数、事業規模など） 講師：秋元 梓治 氏 開催時期：令和2年10月9日 参加人数：19名 対象者：青年部員	小規模事業者	指標	(1)講習会参加者数 (達成度 95.0%)		指標	研修会・セミナー参加者満足度 目標値（満足・どちらかといえば満足）の割合 (達成度 125.0%)		経費をかけずに新たな商品を提供していく方法やアイデアの生み出し方、着眼点等顧客ニーズの組み取り方や新商品の売り出し方を学ぶことができた。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	青年部、女性部のみならず、地区内若手後継者、経営者の資質向上を図る講習会を企画していく。
				目標数値	20	実績数値	19	目標数値	80%	実績数値	100%			A	一括アンケート回収121件 コロナウイルス感染拡大により当初予定より大幅に変更し、青年部員対象として講習会を行った。	上げる	現行どおり	実施方法①	実施方法②	
創業支援事業	創業予定者に対してより専門的の支援を行っていくため、尾張旭市、瀬戸信用金庫、日本政策金融公庫と連携して支援体制を構築し、支援を行っている。	・創業セミナーの開催 5回 13名（経営、財務、人材育成、販路開拓）	創業予定者	指標	ワンストップ相談窓口相談回数 (達成度 40.0%)		指標	創業セミナー参加者数 (達成度 100.0%)		創業を支援する上で、他の支援機関と支援ネットワークを構築し、効果的な支援を行うことができた。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	創業者の相談やセミナー後のフォローアップができるような体制と仕組みづくりが必要。
				目標数値	5	実績数値	2	目標数値	5	実績数値	5			A	一括アンケート回収121件	現行どおり	実施方法①	実施方法②		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付けています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。